

◎情報教育センター

センター長 伊月 宣之

1. 平成17年度活動計画

情報教育センターとして教育改善のために次のような活動を行う。

1. 1 情報基礎教育の確立のため平成17年度の実施状況を調査し、改善を図る。その結果、必要があれば一般科目とすることも検討する。

主に基礎的なコンピュタリテラシーと情報社会に参画する態度を育成することを目標として平成18年度より全学科共通で1年生に「情報リテラシー」(前期1単位)を開講することになった。

1. 2 ITを活用した新教育手法の導入推進のための各種講習会の実施

平成16年度に引き続きITを活用した新教育手法の導入推進のための各種講習会の実施を行う。講習会としては次の5つを計画している。

- [1] 本校とILAの共催による小中高の教員を対象とした講習会(平成17年5月23日)

講師として慶応義塾湘南藤沢中・高等部 田邊先生、長岡技術科学大学 福村先生を招き、小中高の教員とした情報教育に関する講演会と講習会を開催した。

- [2] Matlab 利用講習会(平成18年3月23日)

Matlab を用いて平均値と標準偏差を求める簡単な例題を用いて、色々なMatlab の機能を利用したプログラミング法とデータファイルの読み書きを実習する講習会を開催する。

- [3] LabVIEW 利用講習会

開催できなかった。

- [4] Pro/E 利用講習会

ものづくり支援センターが開催したため開催しなかった。

- [5] 専攻科 AV 教室利用講習会

要望がなく開催しなかった。

- [6] Excell 初級講習会(平成17年12月21日) 追加

学内よりExcellの初級者向け講習会の希望があったため、セルの概念から便利な関数の使い方までを概説したExcellの初級を開催した。

- [7] WebClass 導入セミナー(平成17年12月8日) 追加

WebClass 導入時にWebClass社の平氏を講師にWebClassの概要についてのセミナーを実施した。

○ 総括的な評価と課題

1. 評価

- ・ 情報基礎教育確立のため、平成 18 年度から全科共通で「情報リテラシ」を前期 1 単位開講することになったことは学校全体としての情報教育に一つの前進が見られた。
- ・ I T を活用した新教育手法の導入推進のための各種講習会は他のセンターが開催したものもあったが、全体としてほぼ予定に近い講習会ができたものと考えてよいと思う。WebClass 導入も実現したので予定に追加の形で講習会を開いたが、今後この WebClass を利用した教材開発を広める必要があると思われる。

2. 課題

- ・ 「情報リテラシ」を 1 年生に統一したが、低学年の教育に学科を超えた取り組みをどのような形で展開させていくかは少しの試行検討期間が必要になるかもしれない。
- ・ また、WebClass も有効に活用するにはどうすればよいかという点では、今後全教員の協力や参加が是非必要かと思われる。さらに多くの講習会開催が必要と思われる。